

2011.5.25

IEEE SMC Hiroshima Chapter 主催研究会のお知らせ

Chair: 市村 匠

問い合わせ先:

電子メール: ieee-smc-hiroshima-exec@smc-hiroshima.info hiroshima-cu.ac.jp

参加費無料

1. 研究集会 (講演)

場所: 尾道大学

〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600 番地

<http://www.onomichi-u.ac.jp/access/index.html>

時間: 12:45-13:45 (60分)

尾道大学 C棟 1階 第3会議室

タイトル: 「Android スマートフォンを用いた観光マップの作成とソフトコンピューティング手法によるデータマイニング」

講演者: 市村 匠 (県立広島大学 経営情報学部 経営情報学科 准教授)

概要:

モバイル情報端末機器に搭載されている Android スマートフォンは, Google がモバイル向けプラットフォームとして開発したオープンソースであり, 搭載ソフトウェアのライセンス料を圧縮したい端末メーカーからも注目され, 急激にシェアを拡大している. Google API を用いることで, GPS による位置情報やカメラなどの観光地情報を取得するためのアプリケーションの開発が容易であることもまた知られている. 本研究で開発したアプリケーションは, 観光者自身が観光地で取得した GPS による位置情報, 写真だけでなく, 同時に5段階評価, コメントなどの観光者独自の評価を収集することが可能である. これらの情報は, Evidence-based practice (EBP) 研究の一つとして考えられている. EBP は, 臨床結果に基づいた医療として, 客観的な観察や統計学的な根拠に基づく治療法として知られる EBM (Evidence-based Medicine) の考え方から生まれてきたと考えられる. 収集された観光地情報を利活用することにより, 観光情報を統計的に処理し, 有効な観光情報を抽出可能だと考えられる.

ところが, このように個人が収集した情報には, あいまいな情報や矛盾するサンプル, 欠損値が多く含まれているため, そのまま統計処理することが難しい. このようなあいまいで複雑な現実の対象に対する情報処理手法として, ファジィ理論, ニューラルネットワーク, 進化計算などのソフトコンピューティング手法が有効である. 我々は, インタラクティブ階層構造成長型自己組織化マップの手法を提案し, 利用者が必要な情報を抽出するためのグラフィカルツールを開発した. このツールを用いて観光地情報から有用な情報を利活用するための手法について説明する.

2. おのみち歴史と文化の研究会

場所: 尾道駅

時間 14:50-16:50

尾道は, 千光寺山・西国寺山・浄土寺山の各山が海岸に迫り, 狭い帯状の土地に山の尾根伝いに一筋の通りがあり, それが「山の尾の道」と考えられたことに由来すると言われている. 平安時代から, 対明貿易船や北前船, 内海航行船の寄港地として栄えた歴史だけでなく, 志賀直哉の暗夜行路, 大林宣彦監督の尾道三部作で有名な文化の街でもあります. 尾道駅周辺において, 歴史と文化を探求する研究会を実施します (移動等にかかる費用は個人で負担願います).

3. 懇親会

研究会終了後, 懇親会を予定しております.